

小金井保育園 26 年度の体制について

26 年度は、正規の退職分が週 30 時間勤務の非常勤 2 人になり、さらに 5 月からは待機児解消緊急対策として、0 歳クラスと 1 歳クラスにそれぞれ 1 人ずつ新入児を迎えての始まりだった。

5 月 1 日時点での必要な臨時職員は、7 名。

- ・ 0,1 歳クラスフリー ⇒ 正規の当番を 1 本かぶってもらい 9 : 00 ~ 17 : 30 勤務
- ・ 待機児解消緊急対策分 ⇒ 欠員①
- ・ 2 歳児産休代替 ⇒ 正規の当番を 1 本かぶってもらい 9 : 00 ~ 17 : 30 勤務
- ・ 2 歳児加配対応分 ⇒ 9 : 00 ~ 16 : 30 勤務 (朝 30 分夕 30 分欠)
- ・ 4 歳児加配対応分 ⇒ 欠員②
- ・ 5 歳児加配対応分 ⇒ 週 3 日 9 : 00 ~ 16 : 00 (朝 30 分夕 60 分欠)
週 2 日 8 : 30 ~ 17 : 00
- ・ 一時保育分 ⇒ 週 4 日 8 : 30 ~ 17 : 00
週 1 日 9 : 00 ~ 16 : 00 (朝 30 分夕 60 分欠)

※一時保育室は正規 1、臨職 2 の配置に決められているが、実際は正規 2、臨職 1 でしか回らないので、やむを得ず 0 歳の正規枠と一時の臨職枠を取り替えて、0.1 歳フリーとして配置している。産休や加配がなくても必然的に臨職が 2 必要。

6 月には上記の欠員は表面上埋まったものの、欠員①は週 4 日勤務 9 : 00 ~ 16 : 00 (木)
9 : 00 ~ 15 : 00 (月) (金)
9 : 00 ~ 14 : 00 (水)

欠員②は週 4 日勤務 8 : 30 ~ 15 : 30 (木)休み で、

週 1 の穴や日替わりの時間欠分を保障するために、色んなクラスに色んなクラスから応援に入る。

さらに 6/4 から 0 才児の職員が産休に入ったが臨職は補充されず、欠員。もうどうにも穴を埋めきれず、11 時間非常勤職員に時間外勤務をしてもらうことに。朝パートに 12 時まで働いてもらい、夕パートに 14 : 00 から出勤してもらい、保育の補助に入ってもらった。さらに 7 月は他園の正規職員に派遣を依頼し、けやき保育園から 10 日、わかたけ保育園から 2 日、さくら保育園から 1 日、応援をもらって保育をつないだ。臨職が長く続かず、特に 0 歳児担任は、年間で 8 人も人が入れ替わった。

<例 1> 26 年 6 月 18 日 (水) 美化デー (プール掃除とプール用品準備、外倉庫整理と次の日の豚汁パーティーの準備)

- ・ プール掃除のため 3,4,5 オクラスから正規が 1 人ずつ出る。→ 全クラスギリギリ
- ・ 0 歳クラス (10 名) は担任の正規 2、臨職 1、プラス、この日は 0,1 歳フリーの臨職が入るが、9 : 00 ~ 14 : 00 勤務のため、14 : 00 から夕パートに早出で穴埋めをしてもらう。
- ・ 4 歳児加配分の臨職が 15 : 30 上がりなので、15 : 30 ~ 16 : 00 は夕パートに早出で穴埋めをしてもらう。

<例 2> 26 年 7 月 17 日 (木)

- ・ 0 歳クラス (10 名) は担任の正規 2、臨職 1、プラス、0,1 歳フリーの臨職が入るが、9 : 00 ~ 15 : 00 勤務
- ・ 週 4 日勤務の臨職の (木) 休みと 30 時間非常勤の定休日为重なり、さらに他クラスのペアで勤務の臨職たちの 9 : 00 ~ 16 : 00 勤務が重なっている日。けやきよりヘルプあり。